

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



▲ 透視度58cm.

まなびみ学園の生徒が水質調査に協力してくれました。年々水の透明度もよくなっています。

水質調査
 がはじまりました。
 平成26年
 5月23日(金)
 矢田川
 稲葉橋上流
 午前10時より

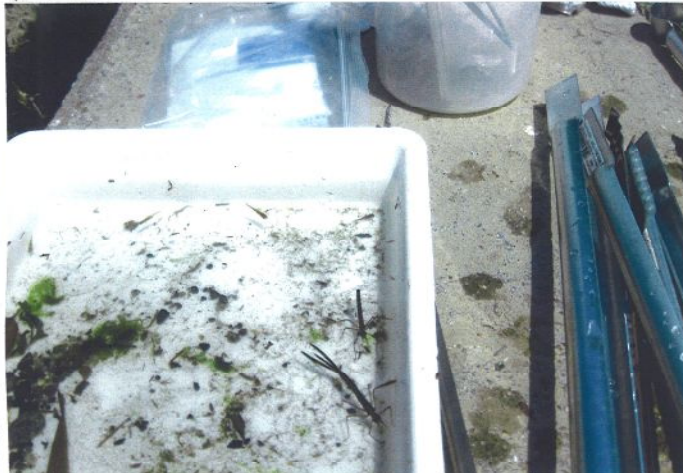
水生昆虫も採集することもあります。



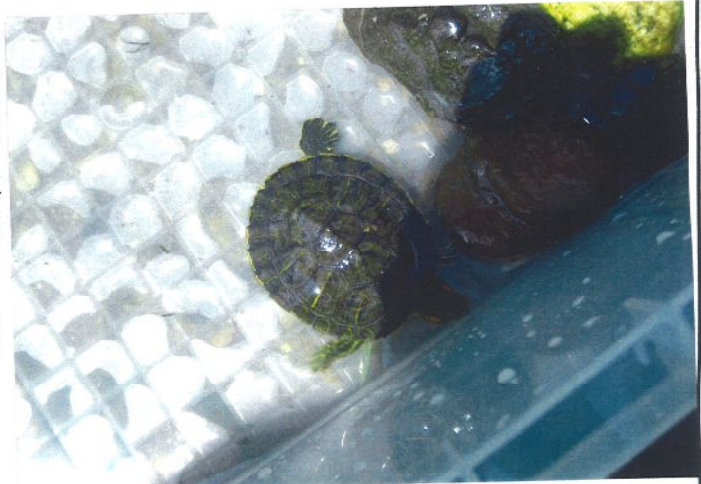
▲ 高校生も大活躍の水質調査です。

川の健康水循環で診断
 愛知県06年度から全国初
 あれから8年「水循環再生
 指標」を作成、河川のモニタ
 リング調査も毎年行っている。
 特に今年は水の濃度も非
 常に平均10ppm程度で
 50cmに達しているのが驚く程
 です。

水生昆虫やゴキブリなどが水質を汚染している。下流は通信教育生徒も参加して、魚と採集してよく活動してくれ。



▶ 外米種、ミシシポアカミミガメ、海沼や河川水路などのほか公園や神社の池やお堀などに注意、寿命は長く



大きなものは体長(背甲長)30cmほど成長する。勳曹、魚類、甲殻類、昆虫類や水生動物などさまざまな生物を食べる。

